

西山系天然瓦斯より液化せし成分中高度揮發成分は主としてプロパン、ブタンなるを報じアセチレン瓦斯の代用として熔鍍及瓦斯増炭用等として利用し得べきを述ぶ

ナフテン酸石鹼に依るエマルジョンの破壊 山 岸 明

エマルジョンの破壊には從來廢曹達溶液一五%を使用せるも廢曹達溶液に六六度ホーメの硫酸を加へて粗石油酸を分離し之よりナフテン酸石鹼を得之を〇・六%使用せば廢曹達溶液一五%に相當し完全にエマルジョンを破壊し得且廢曹達液に依るが如き粘度及び引火點の低下を伴はずとてその工業的試験に就き述ぶ

タービン油抗乳化度の低下防止に就て 黒 澤 武 雄

タービン油の抗乳化度の低下は其成分の化學的變質に因るものにして之れが防止には不安定成分又は接觸作用を行ふが如き成分を除去するを可とするも現在良法なし著者はタービン油に有機性添加劑を少量加へ試験せしに椰子油酸加里は良好なる結果を與へたり之れ酸化物の生成を妨ぐるが故なりと述ぶ

撫順産頁岩油の高壓水素添加

田 中 芳 雄
藤 澤 建 三

撫順産頁岩油は不飽和度高く之を蒸溜せる場合殘渣多し、著者等は其の利用の一考案として此の不飽和度を減ずる爲め高壓にて水素添加を試みるに頗る好結果を得たり

耐壓釜容量三〇〇珎を用ひ頁岩油一七〇珎及觸媒並に水素を入れ壓力七五氣壓より始め二九〇度迄加熱し一五〇氣壓に達せしめたり觸媒はニツケル及酸化ニツケルにして一%、五%を加ふ、添加量増加と共に水素添加量亦増加せり

添加後の油は固形パラフィン量増し不飽和度減じ蒸溜殘渣又減少せり
骸炭及木炭の炭素に就て

大 島 義 清
福 田 義 民

雜 錄

X線分析に依り各種骸炭及木炭の炭素を検せり試料は人造黒鉛、レトルト・カーボン、骸炭、瓦斯骸炭、牛成骸炭、木炭、石油コーク、活性炭、ピツチの遊離炭素なり其結果を見るに之等試料の炭素は何れも同種類の結晶にして種類に依り結晶粒の大小の差あるのみなり然して所謂非晶質炭素と云ふは炭化水素の重合物ならんと述べ、結晶の發達には炭化溫度、時間及原物質の影響するを説けり

日本化學會工業化學會聯合特別講演會 四月六日午後一時半より學士會館に於て日本化學會工業化學會聯合特別講演會行はれ二〇〇餘名の出席者を見盛會なりき燃料關係の講演は次の二つなり

收 着 に 就 て

鯨 島 實 三 郎

木炭に瓦料を吸はする場合は木炭の面多くなれば速度は増加するも吸はるゝ量は増さず故に此の現象は單なる吸着のみに非ず吸収も行はれおる筈なりとて木炭に瓦斯の吸はるゝは收着にして、炭素分子の間へ瓦斯分子の入れるものなりと説き諸種の木炭に就ての瓦斯收着量を擧げ就中斜方沸石は收着能最高にして利用の途あるべきを述べたり

石 炭 と 化 學

大 島 義 清

石炭の吾人生活に利用されし歴史は古きに係らず石炭の化學は頗る幼稚なり石炭が古代植物より生成せること疑ふ餘地なきも或學者は纖維質を主體なりとし或者はリケン主體なりと説く石炭の化學的研究は溶劑に依り構成々分を數種に分別して行ふは一良法なり又乾餾試験に附するも可なり乾餾の結果得らるゝ骸炭は其主成分は炭素にして石炭成分の複雑なるに反して頗る單純なり之れ著者等の第一に基礎的研究を開始せし所以なりと述べて轉じて石炭加工の方面に就て石炭液化は既に工業化の域に進みつゝあり今日にありては如何なる炭種が適合せるや、製造裝置の材料及水素の問題が重要なりと説き石炭の水素添加は單に液化のみならず液化に達せざる或程度まで之を行ふこと即ち Partial hydrogenation に依り弱粘結炭をして粘結性を増加し得るは注目すべきものなりと述べたり(文責在編輯)